

離散幾何解析セミナー

日 時： 2014年7月30日（水） 15:30-17:00
場 所： 京都大学理学研究科 3号館108号室
講演者： 山田 亮 氏（京都大学大学院医学研究科）
題 目： 医学生命科学オミックス研究における表現型

アブストラクト：

医学・生命科学系では、ゲノム配列決定とナノテクノロジーの進歩により、遺伝子配列と同時に、遺伝子発現状態、タンパク質発現状態などを一括して観察(大規模データ型表現型)するオミックス研究という方法が発展している。また個体の特性を従来型医学生命科学の枠組みで離散的・量的に測ること(従来型表現型)も行われている。

これらの従来型・大規模データ型表現型と遺伝的多様性との関係を探索することが、ヒト遺伝因子解析の中心的課題であるが、残念なことに、データマイニングの統計解析手法は単純な方法の多数回適用にとどまっている。

このデータマイニングをよりよいものにするためには、統計手法の開発と並んで、表現型の捉え方の工夫も重要であると。今回は、この表現型の捉え方の可能性についての考えを述べる。